

資料3

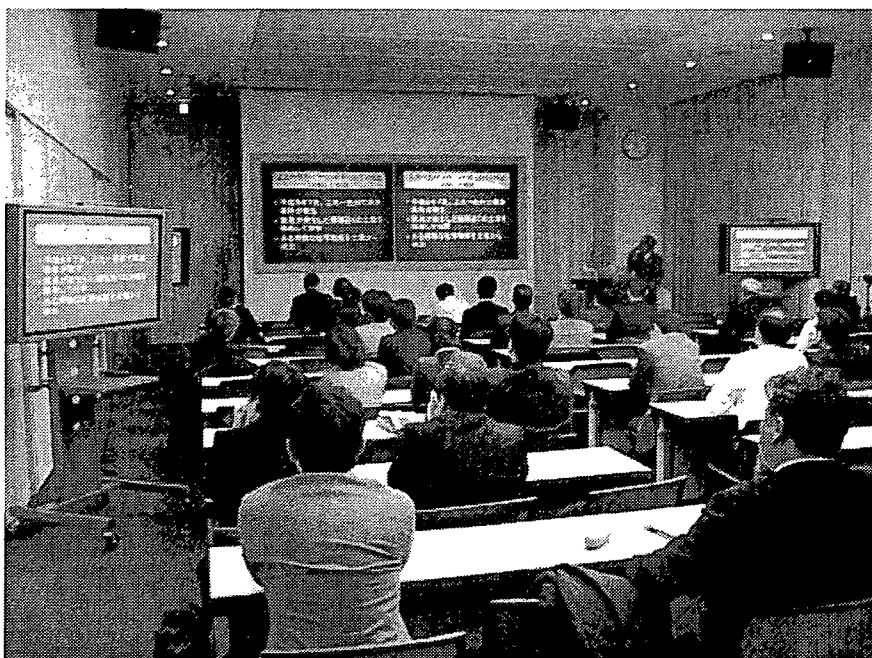
危機管理勉強会による危機管理情報の収集・提供に  
関する研究

## 危機管理勉強会による危機管理情報の収集・提供

広島では、和歌山亜ヒ酸入りカレー事件の翌月に「広島中毒の会」を設立し、同様な事件が広島で発生した際には迅速に対応するため、ファーストレスポンスの集まりを毎月最終週の水曜日に定例会（講演会と交流会）を開き、すでに9年間半続いている。

各省庁内の連絡や情報交換は不可欠であるが、公式な見解として現れてこない実務者レベルの些細な情報も幅広く収集する必要であるため、省庁を越えた実務者間の繋がりを構築すべきと考える。そこで、これまでの経験を生かし、化学災害および化学剤によるテロ攻撃等に備えて、危機管理に関する幅広い分野の専門家を訪問してインタビューを行って危機管理の必要性を訴え、広島だけでなく東京でも健康危機管理に関する勉強会を昨年より開催し、多分野にわたる危機管理に関する講演会やイベントなどの情報の共有を行った。表には、これまでに開催した講演会の演題を挙げる。このような分野を超えた実務者の横断的な連携は、これまでにはなかった試みである。

勉強会メンバーは、ホームページなどでの一般募集と異なり、専門家を訪問するインタビュー形式を採用した。そこでのインタビュー内容を判断することで、情報の信頼性を高めるとともに関連する危機管理担当者の紹介を依頼した。このような横の繋がりを構築することで、既成の連絡会議などでは話題とならない事例に基づく貴重な情報を発掘でき、他分野に有益な情報となりうるが見いだされた。今後は、このような貴重な埋もれた情報を公的連絡会議などに上げられるような方策について検討する予定である。



講演会の風景（2008.2.4.キャンパス・イノベーションセンター東京にて）

回	開催日	演題	会場
1	2006年12月7日	化学兵器概論および現場検知装備	バブコック日立(株)会議室
2	2007年1月19日	化学防護とそのシステム 化学防護の基本 自衛隊の化学防護システム 我が国社会の化学防護システム	バブコック日立(株)会議室
3	2007年1月26日	米国の危機管理動向	バブコック日立(株)会議室
4	2007年2月15日	生物剤検知に関する話題	バブコック日立(株)会議室
5	2007年3月15日	化学剤検知に関する話題	バブコック日立(株)会議室
6	2007年4月19日	危機管理とプレホスピタルケア(病院前救護) 1.スポーツイベントの危機管理-マラソン大会の救護体制を中心に- 2.事例報告-東京マラソンの救命事例- 東京マラソンのBLS救護体制(BLS救護本部) ランナーによる救護(マラソンランナー) モバイルAED隊の救護活動 AEDメーカーの救護活動 3.マスギャザリングの危機管理-救護体制を中心に- 4.児童生徒への救急蘇生法教育-新しい試み-	バブコック日立(株)会議室
7	2007年5月7日	危機管理医学の立場からみた地震防災	バブコック日立(株)会議室
8	2007年5月28日	大規模集団災害における活動と連携 -医師、救急救命士、救助隊員の視点から- 大規模集団災害での医師の活動と他職種との連携 病院所属救急救命士としての大規模集団災害での役割 救助隊から見た他職種の連携とこれからの災害救急救助の展望	バブコック日立(株)会議室
9	2007年6月22日	国際危機管理	伊藤忠商事(株)会議室
10	2007年7月31日	アフガニスタンのタリバンの攻勢-戦争外傷より- 新潟県中越沖地震における、柏崎災害医療本部立ち上げと災害医療管理 海外安全マネジメント Agenda 日本における緊急患者輸送手段の実態と問題点 最近の事例について -アフガニスタンからの緊急患者移送-	伊藤忠商事(株)会議室
11	2007年8月22日	危機管理時のリスク・コミュニケーション 安全・安心科学技術の推進について	伊藤忠商事(株)会議室
12	2007年9月7日	日本の危機管理対策とその取り組み-テロ対策研究の視点から- 我が国のテロの未然防止と危機管理における課題 武装工作員対策の現状と課題 核テロリズムの可能性と対策	キャンパスイノベーション センター東京 会議室
13	2007年10月4日	海上保安庁羽田特殊救難基地見学会 特殊救難隊業務概要説明 特殊救難基地施設見学 隣接する当庁羽田航空基地格納庫に駐機中のヘリ機体見学	海上保安庁 羽田特殊救難基地
14	2007年10月4日	検査センターにおける薬毒物検査について 最近のドーピング検査から探る薬毒物検査の将来像	キャンパスイノベーション センター東京 会議室

15	2007年10月18日	北九州市の危機管理 基本的考え方とその構築 北九州市総合防災訓練のこれまでとこれから 図上訓練KFEXについて	キャンパスイノベーション センター東京 会議室
16	2007年10月29日	日本電子(株)分析機器営業本部見学会 DARTイオン源紹介 DARTイオン源サンプル測定実演 その他質量分析計の見学	日本電子(株)
17	2007年10月29日	生物テロ対処法の現状 日常診療で生物バイオテロをスクリーニングする感染症検査 システムの構築 生物兵器対処の現状と米国との比較	キャンパスイノベーション センター東京 会議室
18	2007年11月26日	ITにおける危機管理の考え方と実装について ITシステムにおける危機管理 サイバー上のインシデントに対応するための最善策 CSIRT について	キャンパスイノベーション センター東京 会議室
19	2007年12月6-7日	薬毒物の迅速検査法(講義と実習)	広島大学医学部
20	2007年12月10日	重症熱傷に対する初療と災害時の対応 学校におけるリスクマネージメント-AEDの普及と命の教育について-	伊藤忠商事(株)会議室
21	2007年1月16日	化学物質管理行政の方向性	キャンパスイノベーション センター東京 会議室
22	2008年2月4日	サリン事件 今だから話せるサリン事件の真実 急性サリン中毒の法医学的診断法の開発	キャンパスイノベーション センター東京 会議室
23	2008年2月15日	メール及び添付されたマルウェアに関する分析結果報告とその対応について	キャンパスイノベーション センター東京 会議室
24	2008年3月20日	地下鉄サリン事件とその後のNBCテロ対策	キャンパスイノベーション センター東京 会議室

資料4

危機管理メーリングリストによる危機管理情報  
収集・提供に関する研究

## 目的

本システムは、メーリングリストに参加するユーザ登録ならびに管理運営を支援し、作業の効率化をはかるものである。

## 概要

メーリングリストに参加するユーザは、Web を通してユーザ情報の登録し、メーリングリストへの参加を申請することができる。

申請を受けたシステムは管理者へメールにより、通知を行う。

管理者は、申請の承認を Web 行うことができる。

また、ユーザは、連絡先などの変更があった場合、Web を通して登録情報の変更を行うことができる。

## 1. メールリングリスト申請

ユーザは、管理者から通知された URL にアクセスすると、次の画面が表示される。



MCEA

認 証

メールアドレス

パスワード(新規登録の方は何は入力不要)

[パスワード再発行](#)

戻る

初めてアクセスするユーザは、自分のメールアドレスを入力し、ログインボタンをクリックする。



クリック後、「メーリングリスト申請ユーザ登録」画面が表示されるので、必要な情報を入力する。※印がある項目は必須である。

## メーリングリスト申請ユーザ情報登録

新規ユーザはこちらのフォームから登録してください。  
登録されたユーザのe-mailアドレスに、パスワードを送信致します。  
※\*の部分は必須項目です。必ず記入してください。

*メールアドレス	abc@123
セカンドメールアドレス	<input type="text"/>
*フリガナ	姓 <input type="text"/> 名 <input type="text"/>
*名前	姓 <input type="text"/> 名 <input type="text"/>
*所属(フリガナ)	<input type="text"/>
*所属(法人名、学校名など)	<input type="text"/>
部署(フリガナ)	<input type="text"/>
*部署	<input type="text"/>
職位(役職名)	<input type="text"/>
*郵便番号	<input type="text"/> - <input type="text"/>
*都道府県	<input type="text"/>
*市区町村	<input type="text"/>
*番地	<input type="text"/>
*電話番号	<input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> 内線番号 <input type="text"/>
携帯電話	<input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/>
FAX	<input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/>
ホームページURL	<input type="text"/>

送信

リセット

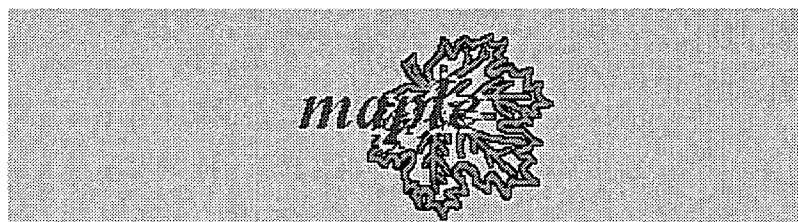
戻る

入力後、「送信」をクリックすると、申請が完了し、仮パスワードがメールで送られてくる。送られてくるパスワードの有効期限は作業をした日のみであるため、本システムにログインし、パスワードの変更が必要となる。

## 2. パスワード変更

ユーザは、パスワードを変更することができる。

ログイン画面よりログインした後、「操作メニュー」画面が表示される。






認 証

メールアドレス	<input type="text" value="abc@123"/>	
パスワード(新規登録の方は何は入力不要)	<input type="password"/>	
<input type="button" value="ログイン"/>	<input type="button" value="リセット"/>	<a href="#">パスワード再発行</a>

戻る

Copyright 2008 MIURA Corporation. All rights reserved.

操作メニュー画面の「パスワード変更」をクリックする。

操作メニュー	
■パスワード変更	
■登録情報変更	
■イベント申込み	

戻る

「パスワード変更」画面が表示される。新しいパスワードを入力する。パスワードは画面に表示されないため、2回入力する必要がある。「変更」ボタンをクリックすることでパスワードの変更が行われる。

**パスワード変更**

新パスワード	<input type="password"/>
パスワード確認	<input type="password"/>

**戻る**

変更後は、変更が完了したことを伝えるメッセージが表示される。

●●●●●●●●●●のパスワードを登録しました。

**戻る**

### 3. メーリングリストユーザ情報変更

ユーザは連絡先などの変更を Web で行うことができる。

ログイン後、操作メニューより、「登録情報変更」を選択すると「メーリングリストユーザ情報変更」画面が表示される。登録されている情報が表示されているので、変更があった項目のみ変更を行うことができる。

## メーリングリストユーザ情報変更

新規ユーザはこちらのフォームから登録してください。

登録されたユーザのe-mailアドレスに、パスワードを送信致します。

※\*の部分は必須項目です。必ず記入してください。

*メール アドレス	<input type="text"/>
セカンドメールアドレス	<input type="text"/>
*フリガナ	姓 <input type="text"/> 名 <input type="text"/>
*名前	姓 <input type="text"/> 名 <input type="text"/>
*所属(フリガナ)	<input type="text"/>
*所属(法人名、学校名など)	<input type="text"/>
部署(フリガナ)	<input type="text"/>
*部署	<input type="text"/>
職位(役職名)	<input type="text"/>
*郵便番号	<input type="text"/> - <input type="text"/>
*都道府県	<input type="text"/>
*市区町村	<input type="text"/>
*番地	<input type="text"/>
*電話番号	<input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> 内線番号 <input type="text"/>
携帯電話	<input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/>
FAX	<input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/>
ホームページURL	<input type="text"/>

送信

リセット

戻る

情報を入力後、「送信」ボタンをクリックすると、確認画面が表示され「確認」を行うと変更が完了する。

#### 4. パスワードの再発行

ユーザはパスワードを忘れてしまった場合、管理者に問合せなくてもパスワードの再発行を受けることができる。ログイン画面から「パスワード再発行」をクリックすると、「パスワードの再発行」画面が表示される。

#### パスワードの再発行

メールアドレス

[戻る](#)

自分のメールアドレスを入力し、「再発行」ボタンをクリックすると、メールにより、パスワードが通知される。以下は発行が完了したことの画面メッセージ。

●●●●●●●●●●様パスワードを送信しました。

[戻る](#)

システムからの「パスワードのお知らせ」メール。







件名: パスワードのお知らせ

メールリングリスト登録システムからパスワードをお知らせします。  
本日中のみこのパスワードは有効です。

パスワード: NLRMY9IK

## 5. 管理者用操作メニュー

管理者が、ログインすると、管理者用の「操作メニュー」画面が表示される。

操作メニュー	
■パスワード変更	
■登録情報変更	
■イベント申込み	
■ユーザー一覧	
■メンバーリスト更新	
■イベント追加	
情報	
■ユーザー数	15名
■保健	メンバー:6名 アクティブ:0名 承認待ち:5名
■未使用10	メンバー:0名 アクティブ:0名 承認待ち:0名
■未使用2	メンバー:0名 アクティブ:0名 承認待ち:0名
■未使用3	メンバー:0名 アクティブ:0名 承認待ち:0名
■未使用4	メンバー:0名 アクティブ:0名 承認待ち:0名
■未使用5	メンバー:0名 アクティブ:0名 承認待ち:0名
■未使用6	メンバー:0名 アクティブ:0名 承認待ち:0名
■未使用7	メンバー:0名 アクティブ:0名 承認待ち:0名
■未使用8	メンバー:0名 アクティブ:0名 承認待ち:0名
■未使用9	メンバー:0名 アクティブ:0名 承認待ち:0名
■ログインエラーユーザー数:	5名

戻る

管理者用の操作メニューでは、ユーザのものに「ユーザー一覧」「メンバーリスト更新」「イベント追加」がつかされ、情報として、各、メンバーリストのメンバー、アクティブ、承認待ちの人数が確認できる。

## 6. ユーザー一覧

ユーザー一覧を選択することにより、「ユーザー一覧」画面が表示される。

個別に、ユーザを選択し、「変更する」をクリックすることにより、選択したユーザの情報を表示したり、変更することができる。(画面は「メーリングリストユーザ情報変更」画面と同等)



変更・削除したいユーザの選択欄をチェックして、「変更する」または「削除する」ボタンを押してください。

選択	メール アドレス	所属(法人名、学校名など)	姓	名
<input type="radio"/>				
<input type="radio"/>				
<input type="radio"/>				
<input type="radio"/>				
<input type="radio"/>				
<input type="radio"/>				
<input type="radio"/>				
<input type="radio"/>				
<input type="radio"/>				
<input type="radio"/>				
<input type="radio"/>				
<input type="radio"/>				
<input type="radio"/>				
<input type="radio"/>				





## 7.メーリングリスト更新

本システムは 10 個のメーリングリストを管理することができる。

管理者用操作メニューをから「メーリングリスト更新」をクリックすると、「メーリングリスト更新操作メニュー」が表示される。

更新対象のメーリングリストをクリックすることで、更新が行われる。

全てのメーリングリストを更新したい場合は、「全メーリングリスト更新処理」をクリックすると行われる。

メーリングリスト更新操作メニュー			
メーリングリスト個別更新			
■ ユーザー数 15名			
■ 保健	メンバー:6名	アクティブ:0名	承認待ち:5名
■ 未使用10	メンバー:0名	アクティブ:0名	承認待ち:0名
■ 未使用2	メンバー:0名	アクティブ:0名	承認待ち:0名
■ 未使用3	メンバー:0名	アクティブ:0名	承認待ち:0名
■ 未使用4	メンバー:0名	アクティブ:0名	承認待ち:0名
■ 未使用5	メンバー:0名	アクティブ:0名	承認待ち:0名
■ 未使用6	メンバー:0名	アクティブ:0名	承認待ち:0名
■ 未使用7	メンバー:0名	アクティブ:0名	承認待ち:0名
■ 未使用8	メンバー:0名	アクティブ:0名	承認待ち:0名
■ 未使用9	メンバー:0名	アクティブ:0名	承認待ち:0名
■ 全メーリングリスト更新処理			

戻る

資料5

## 分析講習会テキスト

# 第 11 回分析講習会 第 19 回危機管理勉強会

平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金（地域健康危機管理研究事業）

日時：平成 19 年 12 月 6～7 日

場所：広島大学医学部基礎棟 8 階

広島大学大学院医歯薬学総合研究科法医学

広島大学技術センター

## 薬毒物検査講習会に際して

和歌山市でカレーによる中毒事故（後に事件）が1998年7月25日に発生し、当初、保健所は食中毒が、警察は翌日には青酸が、一週間後には亜ヒ酸が中毒起因物質であると発表しました。その間に4名の方が亡くなりました。もっと早く中毒起因物質が見つかったければ、適切な治療を受けることにより救命された方がいたかもしれません。

薬毒物による中毒事件では、警察や地方衛生研究所等が起因物質を調査しますが、事件性の有無に関わらず患者は病院へ運ばれ、時間の経過とともに事件とわかることがあります。起因物質に関する情報が治療現場に届くのが遅れて医療関係者や患者さまに大きな影響（被害）を与えることがあります。起因物質が不明な段階であれば治療も慎重ですが、食中毒や原因となる物質が明確に示されると積極的な治療がかえって災いとなります。

カレー事件を契機に、「なぜ患者さまが救急搬送される病院で中毒起因物質の検査ができないのか」という素朴な疑問が起こり、治療の現場で迅速に薬毒物の検査ができれば患者さまは適切な治療が受けられ、不幸な結末を回避できるのではないかと感じました。調べてみますと、当時、特定の治療薬モニタリング（TDM）はありましたが、薬毒物による中毒に対処する検査体制はほとんどありませんでした。

1999年度の特別予算で当時の厚生省は、全国の高度救命救急センター8カ所に8,000万円、救命救急センター65カ所に2,000万円の分析機器を配備しました。厚生省は「サリンなどのテロに用いられる化学物質を分析する」ために機器を配備したにも関わらず、配備先の救命救急センターや薬剤部、臨床検査部では「何を分析すれば良いのか、通常業務に特殊業務が課せられては困る」と中毒情報ネットワークのメーリングリストで多くの意見が寄せられました。確かに、分析装置は高価であり、それを扱うには豊富な経験が必要で、さらに、維持・管理の費用がかかります。どこの施設でも簡単に設置できるものではありません。また、機器による分析は精度の高い結果が得られる反面、迅速性に欠けるところがあります。

そこで、高価な機器を使わないで迅速で簡便な方法が求められます。また、身の回りには多種多様な中毒起因物質があり、すべてを検査対象とすることはできません。日本中毒学会分析委員会が、1) 死亡例の多い中毒、2) 分析が治療に直結する中毒、3) 臨床医からの分析依頼が多い中毒の観点から、15品目を優先的に分析対象薬毒物とすることを1999年に提言しましたので、これらの物質が簡便で迅速に検査できる方法を開発し、毎年、普及活動を行っています。

これまででは治療の現場に重きを置いてきましたが、今回は、初動対応者にも理解を深めていただくために、有毒ガスの検査も実習項目に加えて、講習会を企画しました。